



第7号

発行日：平成30年3月15日
発行者：(一社)ならはみらい

ならは交流館だより

平成30年2月23日(金)、「第7回ならは交流館お茶飲み会」が開催され、榑葉町で継続的にボランティア活動をしている立命館大学を中心とした関西の学生13名にご参加いただきました。今回のWSでは、①交流館を町外の人にも使ってもらおう！、②交流館を町民の方々に継続して利用してもらおう！、③交流館でできそうな企画を考えよう！の3つをテーマに、意見を出してもらいました。

WSのプログラム

1. 榑葉町に来てよかったこと、知ったこと

参加して下さった学生の皆さんは、榑葉に関わる人へのインタビュー・記事づくりの活動を実施するため滞在しており、その中で、初めて知ったこと、榑葉町の良さなど、学生の皆さんがそれぞれ感じたことを、思い思いに話していただきました。



2. 交流館の説明

榑葉町役場から、交流館のコンセプトの説明を、交流館の設計者である都市建築設計集団から、模型を使って建物の詳しい説明をしていただきました。



3. 交流館を町外の人たちに交流館を使ってもらおう！

観光利用

- ・榑葉町の名産も紹介できる施設：観光マップや映像製作を行う。
- ・「ならはグッズ」の販売：ならはグッズ検討委員会をつくる
- ・交流館へ来た際に、大人数BBQをやりたい
- ・町内の店舗の営業情報が知れる
- ・インスタ映えを狙う。オブジェ、SNS受けをするもの。
- ・星空観測会の開催。天然のプラネタリウムを知ってもらう

震災のことを知ってもらう場

- ・震災のことが分かってもらえる施設。校外学習の場になること。
- ・震災関連の展示、語り部さんの説明。情報発信の場になること。
- ・放射能のことを学べる場。

その他

- ・フィットネスジム機能を設置。
- ・ボランティアの受け入れとなる拠点。
- ・私に話しかけるスペースをつくること。

4. 町内の人々が日常的に交流館へ来てもらおう！

ソフト面

- ・交流館の中では名札を付ける。町外の来訪者も同様。名前は下の名前(ファーストネーム)で呼ぶ。
- ・サークルや委員会をつくる
- ・サークルを開設する：布ぞうり、将棋、囲碁、料理、歌など
- ・田舎留学ができる。都会に住む人が田舎の家で生活する体験ができる
- ・魚のさばき方が教えてもらえる
- ・子育てママたちの交流の場、子どもの遊び場。



ハード面

- ・スポーツ施設の機能：卓球台やテニスコート
- ・カフェ・軽食喫茶の機能。
- ・榑葉町のおいしい食材を使った晩御飯が食べられる。食材を持ち寄って調理できる。
- ・スタンプラリーを設け、それを集めたら地元の店でクーポンとして使える。
- ・最寄り駅と交流館にレンタサイクルを設置。
- ・図書館や本屋を併設。
- ・送迎バスなどの交通手段を整備。
- ・個展ができるスペース(販売可)。
- ・コミュニティラジオのサテライトスタジオ。

行事、イベント、催し物など

- ・昔遊びの教室：けん玉、竹馬、凧揚げなど。
- ・劇などの発表の場。
- ・屋内フェス：ストリートアーティストなどに参加してもらう。
- ・月1回の映画上映会開催。
- ・榑葉町のグルメイベント開催。
- ・物産展、名物を食べられるお祭りを開催する。
- ・榑葉町の子どもたちと一緒に遊べる、交流できる機会を設ける。
- ・カラオケ大会など、歌で交流する機会を設ける
- ・文化祭の雰囲気を持ったイベントを開催。



5. 交流館でできそうな企画を考えよう！

班内で企画のタイトルと対象者を決め、アイデアを模造紙にまとめたのち、班ごとに企画内容の発表をしていただきました。

1 班

企画タイトル：

外国人にナラハをしてもらおう！

ターゲット：

外国人などの福島のことをよく知らない人

目的：楡葉町とのつながりをつくる。

世界規模の出来事を知ってもらう。

方法：YouTube、体験学習

目標：被災地のイメージを変える

- ・楡葉町で YouTuber を募集→外国人にナラハを紹介してもらう。
- ・楡葉のニュース：魅力の発信

到達目標

- ・外国人に再度来てもらえる交流館になるとよい
- ・被災地をまわる外国人向けツアー
- ・外国語のパンフレットを交流館に用意する
- ・外国人向けのゲストハウス、ホームステイ、農業体験を整備



3 班

企画タイトル：

ほっこり癒されツアー

ターゲット：女子大生

こだわり：ツアー参加者が、楽しみながら住民と交流できること

①日帰りコース（温泉と交流館で）

- a. 町民の興味・特技を生かした体験ブース（日替わり）
- b. 布ぞうりづくり体験
- c. 季節ごとの催し（例：秋に鮭をさばく）

参加者は a～c のうち 2 つを選択できる。

②宿泊コース

- ・交流館で宿泊する民家の紹介。マッチングシステム。
- ・2 日目は民泊した家の方と地元の名所を観光する。

※連絡を取り合って、また宿泊に来れるようになるとうい



2 班

企画タイトル：

ナラハメシ～ 12 人の食の物語～

ターゲット：町内の人から全国の人まで

- ・楡葉町の食の魅力を伝える
- ・学生が取材、楡葉町の中学生と町外の大学生がコラボし、ならば名物を開発。
- ・発信の方法：交流館でアピール、YouTube、公開ラジオ、月 1 回のドキュメンタリー番組
- ・将来はカレンダーグッズの販売



4 班

企画タイトル：

町内と町外の人をつなぐ ならばマッチングアプリ

ターゲット：楡葉町外の人、町外出身者

発信したい情報：

- ・復興の状況
- ・楡葉町の人たちの温かさ、魅力
- ・楡葉町の自然の豊かさ

方法：

- ・町民と町外の人々の共同作業を通じて、パネル制作や映像制作（楡葉の人たちの生の声を発信したい）。
- ・ならばマッチングアプリにデータベースとして蓄積し、交流館の来訪者が見たり聞いたりできるようにする。気になった町民に会いに行くことも可能。「31 人の生の声」など、音声ボタン（1 分程度）

